



あけまして おめでとうございます



長崎市議会議員

原 城 和 雄

長崎の個性を 世界に向けて

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年開催された「長崎がんば

らんば国体・大会」におきましては、皆様の多大なるご尽力により、大盛況のうちに幕を閉じることができました。これも、大会関係者をはじめ、運営ボランティアとしてご活躍いただいた市民の皆様のおかげであり、心から感謝申し上げます。

今年は、被爆70周年の節目の年です。被爆の実相の継承が課題とされている中、長崎では、ノーベル平和賞を受賞した「パグウォッシュ会議」や市民の皆様が企画した種々の事業が行われます。いま一度平和について考え、市民の力を一つにして、核兵器廃絶に向けた力強いメッセージが発信されることを期待します。

また、今年は、世界遺産を目指している「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の登録が審議される年です。既に推薦が決定している「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と2年連続の世界遺産登録を期待しています。

市議会におきましては、市議会の取り組みを、より分かりやすく、迅速に伝えるため、昨年、新たな広報手段として議会事務局フェイスブックを開設し、日々情報の発信を行っているところです。今後とも、「開かれた議会」の推進を目指し、市民の皆様の負託に応えられるよう積極的に取り組んでまいります。

平成27年が、市民の皆様にとりまして、飛躍の年でありますよう心からお祈りいたします。

長崎らしいまちづくり 長崎は今、進化中

新年あけましておめでとうございます。

私たちは今、次の時代に向けたまちづくりを進めています。時代の変化に合わせて進化していくためには、長崎の強みを最大限に生かすこと、そして、長崎にあった暮らしやすさを創り出していくことが求められています。

今年は、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録について、審議が行われます。長崎市に、世界に誇れる新たな歴史が刻まれることを期待しています。来年の登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と合わせて、2つの世界遺産を持つまちを実現できるよう全力で取り組みます。

そして、8月9日には被爆70周年を迎えます。被爆者の皆様と共にこれまで訴え続けてきた、「核兵器廃絶」と「世界恒久平和」を求める思いは、若い世代にもしっかりと受け継がれています。世代を超えたさまざまな取り組みにより、国内外に平和への思いを発信し、被爆都市としての役割を果たしていきます。

また、暮らしやすさの面でも、人口減少対策、福祉の充実、経済の活性化などに、きめ細かく、長崎に合った仕組みをつくりながら、しっかりと対応していきたいと思えます。

これからもいろいろな場面で、市民の皆様に参加していただき、力を合わせながら、将来を見据えた、長崎らしいまちづくりを進めていきたいと思えます。

今年1年が、皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈りいたします。



長崎市長

田上 富久